

開講科目名 / Course	国際看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	桑野 紀子	
担当教員名 / Instructor	桑野 紀子、丸山 加菜	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	世界の人々を看護の対象としてとらえ、世界の保健医療に関する現状と課題について学び、その背景や対策について考察する。また、訪日外国人や日本国内の在留外国人への健康支援に関して、対象者の文化社会的多様性を考慮した看護について学ぶ。	
到達目標	1. 国際看護 (Global Nursing) の主要概念について述べるができる。 2. 世界の保健医療に関する課題と看護の役割を関連づけることができる。 3. 多様な文化社会的背景をもつ対象者の看護についての視点を述べるができる。	
DPとの対応	3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	01. 国際保健 (Global Health) / 国際看護 (Global Nursing) の主要概念 02. 国際保健 (Global Health) の課題と持続可能な開発目標 (SDGs) 03. 世界の健康問題: 感染性疾患、非感染性疾患、傷害と暴力 04. 世界の健康リスク: 環境問題、貧困 05. 国際保健における国際機関・国際組織の概要 06. 多様な文化社会・言語的背景を持つ対象者への看護 07. 国際協力と看護 (1) JICAデスク大分との共同ワークショップ 08. 国際協力と看護 (2) 事例 (グループワーク) 09. 世界の健康課題に対するWHOの取り組み、ユニバーサルヘルスカバレッジ他 10. 海外で看護師として働く	
その他の授業の工夫	講義で得た知識をワークショップ/グループワークで事例に適用し、ディスカッションする機会がある。海外での看護実践者の講義を含む。	
時間外学修	事前学習として、テキストの該当範囲を熟読しておく。 講義で扱った内容について復習するとともに、国際機関のホームページ等から周辺情報を収集して理解を深める。	
評価方法と評価割合	数回の講義テーマに関する課題レポートまたは小テストの合計: 30% 筆記試験: 70%	
テキスト	看護テキスト NICE 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために (南江堂)	
参考書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] (医学書院) 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[3] (医学書院)	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	桑野紀子: 病院の看護師、助産師、保健師、海外教育機関との国際交流活動 丸山加菜: 病院の看護師、青年海外協力隊、海外でのNGO活動
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	病院の看護師、助産師、保健師、青年海外協力隊、海外でのNGO活動
実務経験をいかした教育内容	国内外での看護実践や国際交流活動に関する経験をふまえ、グローバル社会における看護について学生に指導する。	